

# それでも人生にイエスと言う

伝道者の書4章

## I. 人生の不条理

### 1. 虐げる者たちによる搾取

進化論 → 帝国主義

『働けど働けど 猶 わが生活(くらし) 楽にならざり ぢつと手を見る』(石川啄木)

『蟹工船』(小林多喜二)

### 2. すでに死んだ人の方が、生きている人よりましである。もっといいのは、この世に生まれてこなかったこと(なんという厭世観！)

「この世界は考えうるかぎりの最悪の世界だ」(ショーペンハウエル)

### 3. キーワード「日の下」(1,3 節)

右か左か、ではなく、上か下か (保守か革新か、ではなく、創造者か被造物か)



ショーペンハウエル  
(1788~1860)

## II. 空しい競争

自分の利益追求 → 不幸のレシピ

### 1. 労苦も成功もねたみが根源

### 2. 労苦をしない生き方(「腕組み」) = ゆるやかな自殺(「自分の身を食いつぶす」)

### 3. 多くを望まない生き方のすすめ(「片手に安らかさを満たす」)

## III. 人との関わり

天職(人の役に立つこと) → 満足

### 1. 自分だけのために生きる空しさ(どんなに富があっても)

キーワード「日の下」(7 節)

### 2. 二人は一人にまざる

「いつくしみ深き友なるイエスは」

What a Friend we have in Jesus

ジョゼフ・スクライヴェン (婚約者を二回喪う)



ジョゼフ・スクライヴェン  
(1820~1866)

### 3. 三つ撚の糸は簡単に切れない

「睦まじき仲も 主在さずば / 破れ果つること なしとはせず  
あり得ぬことのみ ある浮世に/ ひとり変わらぬは イエス君なり」 中田羽後

## IV. 名声も束の間

キーワード「日の下」(15 節)

## V. それでも人生にイエスと言う

### 1. ラヴィ・ザカライアス

ヨハネ 14 : 19 「わたしが生きるの、  
あなたがたも生きるからである。」  
Because I live, you will live also.



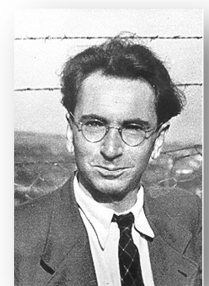
### 2. ヴィクトール・フランクル

(1) アウシュビッツ収容所のホロコーストを生き延びる。「119104」という番号

(2) 「スープを飲ませる価値もない」 死者の持ち物に群がる囚人 無感動 それでも生きる意味はあるのか

① 創造価値 ② 体験価値 ③ 態度価値

「人生から何をわれわれは期待できるかが問題なのではなく、人生からわれわれが何を問われているかが問題。そしてその問いに正しく応答しなければならない。」



### 桶職

内村鑑三(1914)

我は唯(ただ)桶を作る事を知る、  
其他(そのほか)の事を知らない、  
政治を知らない宗教を知らない、  
唯善き桶を作る事を知る。

我は我(わが)桶を売らんとて外に行かない、  
人は我桶を買わんとて我許(もと)に来る、  
我は人の我に就いて知らんことを求めない

我は唯家にありて強き善き桶を作る。  
月は満ちて又欠ける、  
歳は去りて又来たる、  
世は変り行くも我は変らない、  
我は家に在りて善き桶を作る。

我は政治の故を以て人と争はない、  
我宗教を人に強ひんと為ない、  
我は唯善き桶を作りて、  
独立(たち)て甚だ安泰(やすらか)である。